

# 立命館大学人文科学研究所紀要

No. 130

目 次

特集号：パルクールの実践と研究  
最先端の身体文化／スポーツの発展と理解を目指して

巻頭言	塩 見 俊 一 (1)
.....	市 井 吉 興
パルクールの歴史と先行研究および 宮城県富谷市における実践例	平 石 貴 士 (7)
.....	
パルクールと都市文化 ：都市のみかたとつかいかた	住 田 翔 子 (29)
.....	
パルクールの新たな課題 ：ルーツとイノベーションの狭間を読み解く	石 沢 憲 哉 (49)
.....	
【解題】パルクールという文化 ：注がれるまなざしと今日的課題	塩 見 俊 一 (75)
.....	
パルクールの歴史をスポーツ空間のなかに位置づけるための 歴史の素描	平 石 貴 士 (79)
.....	
：フランス、イギリス、日本の実践に触れながら	
.....	
パルクールジムにおける「環境の用具化」 ：パルクールにおけるスタイルと環境の考察に向けて	三 谷 舜 (111)
.....	

## 論文

スポーツをめぐるガバナンスの再解釈に向けた論点整理 ：スポーツ空間をめぐるUNとIOCの「闘争」を手がかりに	上 田 滋 夢 (137)
.....	
反復帰論高揚期における沖縄観光言説 ——1960年代後半～本土復帰までを中心に	小 川 実 紗 (173)
.....	
戦後借行社の大規模化と政治的中立のメカニズム	角 田 療 (213)
.....	
ネオリベラリズムの変遷をたどる 「自由主義者か社会主義者か？」(1884)から 「ネオリベラルのマニフェスト」(1982)まで	下 村 晃 平 (245)
.....	

2022年1月

立命館大学人文科学研究所

